

科目・コース（ユニット）名：文化史
英語名称：Cultural History

【担当責任者】大沼郁子

【連絡先】195tasho1950@gmail.com

【開講年次】１年，【学期】前期，【必修／選択】選択必修，【授業形態】講義

【概要】この授業では、人間が自然災害や疫病をどのように捉え表現し、文化に影響を及ぼしたのかについて考えてみたいと思います。また、地域によって異なる自然災害の文化的影響を、日本だけでなく海外の文化の事例から考えます。災害は様々なものを失わせるだけではなく、私たちの思考や生活文化に影響を与える側面も持っています。東日本大震災、それが引き起こした福島第一原発事故―その後の人々の暮らしや考え方の変化について考えてみたいと思います。

【学習目標】

- ・ 現代社会のことを理解するために、歴史を通じて考える力を身につける。
- ・ 日本文化の特徴を、自然条件や地理的条件という観点から説明できる。
- ・ 自然災害が日本文化に与えてきた影響について説明できる。
- ・ 災害の経験から生まれる教訓と、現代の様々な活動や考え方のつながりを理解する。
- ・ 自然災害がもたらして地域文化への影響について、福島を事例として説明できる。

【教科書】指定しない。授業時にレジュメを配布する。

【参考書】指定しないが、テーマごとに授業時間内に紹介する。

【成績評価方法】授業への出席・参加態度および最終レポートにより、総合的に評価する。

- ・ 授業への出席：規程に基づき、3分の2以上の出席者を評価対象とする。
- ・ 参加態度：授業を受ける態度や、授業の最後に提出を求めるコメントペーパーにより評価する。
- ・ 最終レポート：学習目標の達成度合いに基づき、評価を行う。レポートの未提出および理由なく提出が遅れた場合は評価しない。

【学習上の注意事項】積極的に授業に参加すること。授業への姿勢も評価の基準とします。

【垂直的統合授業の実施内容】該当なし

【水平的統合授業の実施内容】該当なし

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】該当なし

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
1	2026/4/15	水	3	(講) ガイダンス (文化史とは)	大沼
2	2026/4/22	水	3	(講) 日本人と災害 (「六国史」から)	大沼
3	2026/5/13	水	3	(講) 日本人と災害 (近代文学まで)	大沼
4	2026/5/20	水	3	(講) 日本人と災害 (児童文学に見る災害)	大沼
5	2026/5/27	水	3	(講) 災害の表象 (神話に見る災害)	大沼
6	2026/6/3	水	3	(講) 災害の表象 (昔話の怖いもの 日本)	大沼
7	2026/6/10	水	2	(講) 災害の表象 (昔話の怖いもの 西洋)	大沼
8	2026/6/10	水	3	(講) 災害の表象 (昔話の怖いもの 西洋)	大沼
9	2026/6/17	水	2	(講) 文学に見る病 ①	大沼
10	2026/6/17	水	3	(講) 文学に見る病 ②	大沼
11	2026/6/24	水	3	(講) 防災の思想 (福島県のオオカミ信仰)	大沼
12	2026/6/24	水	2	(講) 災害の伝達・伝承 (伊達宗高と蔵王噴火鎮静)	大沼
13	2026/7/1	水	3	(講) 災害の伝達・伝承 (会津磐梯山)	大沼
14	2026/7/8	水	3	(講) 近代の災害と文化 (防災教育・医療体制)	大沼
15	2026/7/15	水	3	(講) 東北地方と災害	大沼

【担当教員】

教員氏名	職	所属
大沼 郁子	非常勤講師	